

今回は、第4回東海地区模擬国連大会の報告です。

◇ 感染症対策のため、オンラインでの模擬国連大会が開催されました！

日 程： 2020年8月8・9日(土・日)

場 所： Zoomを利用したオンライン

議 題： 迫害と差別

参加者： 中学生・高校生

恒例となった東海地区の模擬国連大会ですが、今年はコロナ禍のために中止の危機にいたりましたが、幹事校(海陽学園・岐阜高校・名古屋高校)の皆様のご尽力により、オンラインでの実施となりました。

◇ 今回、最優秀大使賞を受賞した生徒の感想です！

模擬国連では、僕たち参加者がある国の大使になります。そして、一国の大使として、現在問題となっている地球温暖化や地域紛争などのような国際問題について話し合うというものです。簡単な流れを説明すると、

- ①まず始めに話し合われる問題について、様々な視点で解決するために話し合いの場もうけ、いくつかのグループに分けます。
- ②分かれたグループごとに解決するための政策について話し合います。
- ③最終的に決議文書という話し合いで決まった政策を提出し、最後に多数決で可否が決まります。

以上がおおよその流れです。

今回僕は初参加でした。参加した動機は、国際的な問題に興味があったことと、それについて他の人の意見も聞いてみたいというものでした。当日参加してみると、衝撃を受けました。岐阜や愛知の東海地区だけでなく、兵庫、神奈川など幅広く参加者がいました。そんな中始まった会議にはさらに衝撃を受けました。周りの人は自分の想像以上に優秀な人ばかりで、自分には思いつかないような考えに圧倒されました。また、そんな中でも自分の意見を主張することは勇気のいるものでした。しかし、会議終了後には、最後までやりきった達成感と、なんていい経験をしたんだという興奮で満ちあふれていました。

今回の体験から、他校の子たちとの交流はとても楽しかったと思いましたし、また、それだけではなく様々な魅力が発見できました。今後は今回の経験でより興味の幅が広がったので、こういった活動があれば積極的に参加したいです！

1年3組 沖館伽良

